

住民自治のチカラ

中心市街地から町内外へ

○朝顔「團十郎」を楽しむ会
2020年発足。17名の会員で種から栽培・育成。「朝顔」でつながる絆を広げるための発信を続けています。



新型コロナウイルスの影響が色濃く反映された令和3年度決算。前年度同様、感染拡大防止の観点で町が予算執行できず、中止・延期となった事業の陰で、町民みずから興した活動が、コロナ禍でも積極的に進められてきました。行政まかせにせず、地域住民のチカラを結集した「まちづくり活動」を総力取材。寄居町の「住民自治のチカラ」、ご紹介します。あなたもまずは「好きなこと、得意なこと」から始めてみませんか？



酷暑の中の水やりを頑張りました。
加藤勝己さん（折原）

私が区長だった時に自分の庭を開放して栽培を始めました。
新井 純さん（市街地）

来年は團十郎朝顔の写真展、開催します。
福田克己さん（市街地）

團十郎の魅力に惹かれて仲間入りしました。
小淵 愛さん（桜沢）

ポスターを担当。皆さんが喜んでくれることが何よりです。
三上智之さん（市街地）

團十郎朝顔とは…直径12～15センチの大輪の朝顔。えび茶色の花の色が特徴です。寄居町の町草のえんじ色（右下）とも似ていますね。

長さ50メートル「團十郎の朝顔棚」



見る・知る
よりいい

実はこんなに
あるんです

ボランティアグループ
25団体

詳しくは寄居町社会福祉協議会ホームページへ

寄居町のNPO法人
9団体

参加してみませんか？



ギカイの視点

主役は町民。住民の発想がカギ

中心市街地を整備しても「かつての賑わいを取り戻せるのか!？」が町政の大きな課題であることは明白です。それは、そこで生活をする人たちやそこに訪れる人たちがいかに「楽しく過ごせるか」が重要となります。主役は町民。行政だけではできない、住民の発想による提案が貴重なカギを握っています。



ギカイ議論 Keyword 駅前拠点・魅力づくり

寄居駅南口駅前拠点施設及び広場の魅力づくりは、地元の方の提案等により、キッチンカーや朝市、夕市等ができるよう、使い勝手がよいものとなります。



雀宮公園（七代目松本幸四郎丈別邸跡地）の観光PRは、十代目松本幸四郎丈より座右の銘をいただき石碑を建立、ガイドブックに追加掲載しました。←石碑に書かれた「守破離（しゅはり）」は、伝統を重んじつつ新たな挑戦をするという意味

幻の朝顔を「夏の顔」に
「團十郎朝顔」を地域住民の皆さんで育てた経緯は、
宇田川：希少な種を7粒入手して栽培の試作をしたのが2年前。種がたくさん穫れたので、地域住民で「團十郎朝顔を楽しむ会」を立ち上げ、「朝顔まつり」を開催。展示会場となった雀宮公園は、奇しくも11代目市川團十郎の父、7代目松本幸四郎の別邸だった場所です。歌舞伎の市川團十郎が得意とした演目「暫（しばらく）」で團十郎の着いた着物の色に花の色が似ていたことからこの名前に。町草の色とも似ていて「まさに寄居の夏の顔にふさわしい朝顔だ」と栽培にも力が入りました。
一会の運営で苦労されたことは、
宇田川：昨年、会員が丹精こめてつくった行灯仕立ての鉢植え300鉢が完売。買えなかった方が多かったのが今年450鉢を用意したんですが、これも完売でした。売上金で宣伝チラシや講習会の費用を賄い、活動自体は無償のボランティアです。今年折原地区にある有料老人ホーム「ルピナス」に、高さ2メートル、長さ50メートルの「團十郎」の朝顔棚をつくりました（上写真）。酷暑の中の水やりと追肥は大変でしたが、まさに屏風のような見事な景観となり、苦勞も吹き飛びましたね。

團十郎の種が結ぶ未来
宇田川：朝顔市の客層は町外の方が多いいです。来年の夏は、7代目市川團十郎が芸道精進を祈願したことから「芸事の神様」として有名な箭弓稲荷神社（東松山市）に、寄居町の團十郎朝顔を咲かせようとの話も持ち上がり、團十郎の種が結ぶ広域連携の未来も見えてきました。
寄居町では、駅前の拠点施設が来年完成して中心市街地も大きく変わりますよね。夏のマルシェ等の開催があれば「團十郎朝顔」をアピールしていきたい。この朝顔が、寄居町の経済を回すひとつのきっかけになれば嬉しいですね。

朝顔が寄居の経済を回す
ひとつのきっかけになれば…
そんなふうに思ってます。

朝顔「團十郎」を楽しむ会 栽培技術室長 宇田川知克さん（市街地）

